

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 6 月 11 日 (2015.6.11)

【公表番号】特表 2014-518865 (P2014-518865A)

【公表日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【年通号数】公開・登録公報 2014-042

【出願番号】特願 2014-510408 (P2014-510408)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/18 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 33/18

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/137

A 6 1 K 47/20

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 17 日 (2015.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

爪の感染症を治療するための組成物であって、

(a) ヨードフォアと、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、
を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、組成物。

【請求項 2】

爪の感染症を治療するための組成物であって、

(a) 元素状ヨウ素と、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、
を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、組成物。

【請求項 3】

該ヨードフォアが、ポビドンヨード (PVP-I)、ヨードチンキ、ルゴール液、ヨウ化カリウムおよびヨウ化ナトリウムからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

該ヨードフォアが PVP-I である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

該組成物が実質的に無水である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

該組成物が無水である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

PVP-I が約 0.01% ~ 約 10% (w/w) で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 8】

PVP-I が、約 0.05% ~ 約 10%、約 0.1% ~ 約 5%、約 0.2% ~ 約 2.5% および約 0.5% ~ 約 1% (w/w) からなる群から選択される範囲で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 9】

PVP-I が、約 0.1%、約 0.2%、約 0.3%、約 0.4%、約 0.5%、約 1.0%、約 1.25%、約 1.5%、約 2.0%、約 2.5% および約 5% (w/w) からなる群から選択される範囲で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 10】

PVP-I が約 1% (w/w) で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 11】

少なくとも 1 種の自然療法物質をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

ザクロ (*Punica Granatum*) エキス、チャ (*Camellia Sinensis*) 葉エキス、アスコルビン酸、キンセンカ (*Calendula Officinalis*) エキス、スペインカンゾウ (*Glycyrrhiza Glabra*) エキス、アラントインおよびキュウリ (*Cucumis Sativus*) 果実エキスからなる群から選択される少なくとも 1 種の物質をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

トルナフテート、テルピナフィン、ウンデシレン酸、クリオキノール、ミコナゾール、硝酸ミコナゾール、クロリナゾール (clorrinazole)、チオコナゾール、ナイスタチン、テルコナゾイク (terconazoic)、硝酸ブトコナゾール、シクロピロクスオラミン、硝酸エコナゾール、トリアセチン、フルシトシン、ハロプロジンおよびケトコナゾールからなる群から選択される少なくとも 1 種の抗真菌剤をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

該少なくとも 1 種の抗真菌剤が、約 1% ~ 約 25% (w/w) の量で存在する、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

爪の感染症を治療するための組成物であって、

(a) ヨードフォアと、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、

を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、そしてポリグリコールを含まない、組成物。

【請求項 16】

爪の感染症を治療するための医薬組成物であって、

(a) ヨードフォアと、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、

を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、組成物。

【請求項 17】

該感染症が真菌感染症である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 18】

該感染症が皮膚糸状菌感染症である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 19】

請求項 1 に記載の組成物であって、

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を組成物に接触させる工程と、

(b) 該爪の感染症が治療されるまで、該接触させる工程を必要に応じて繰り返す工程と、

を含む、爪の感染症の治療方法で使用される、前記組成物。

【請求項 20】

該接触させる工程を少なくとも 1 日 1 回行う、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

該接触させる工程を少なくとも 1 日 2 回行う、請求項 20 に記載の組成物。

【請求項 22】

請求項 1 に記載の組成物であって、

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも 4 週間繰り返す工程と、
を含む、爪の感染症の治療方法で使用される、前記組成物。

【請求項 23】

該接触させる工程を少なくとも 12 週間繰り返す、請求項 22 に記載の組成物。

【請求項 24】

請求項 1 に記載の組成物であって、

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも 4 週間繰り返す工程と、
を含む、爪真菌症の治療方法で使用される、前記組成物。

【請求項 25】

請求項 3 に記載の組成物であって、

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも 4 週間繰り返す工程と、
を含む、爪真菌症の治療方法で使用される、前記組成物。

【請求項 26】

請求項 1 に記載の組成物であって、

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも 4 週間繰り返す工程と、
を含む、爪の感染症の治療方法で使用されるものであり、

該感染症は、紅色白癬菌 (*Trichophyton rubrum*)、毛癬白癬菌 (*T. mentagrophytes*)、有毛表皮系状菌 (*Epidermophyton floccosum*)、紫色白癬菌 (*T. violaceum*)、石膏状小孢子菌 (*Microsporum gypseum*)、トリコフィトン・トンスランス (*T. tonsurans*)、トリコフィトン・ソウダネンセ (*T. soudanense*)、トリコフィトン・ベルコースム (*T. verrucosum*) からなる群から選択されるメンバー、およびカンジダ属種 (*Candida* spp.)、ネオスキタリジウム属種 (*Neoscytalidium* spp.)、スコプラリオプシス属種 (*Scopulariopsis* spp.) およびアスペルギルス属種 (*Aspergillus* spp.) のメンバーのうちの少なくとも 1 種によって引き起こされるものである、前記組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0158

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0158】

[00242]さらに、本方法が本明細書に記載されている工程の特定の順序に依存しない程度に、工程の特定の順序は、特許請求の範囲を限定するものとして解釈されるべきではない。本発明の方法に関する請求項は、記載されている順序でそれらの工程を行うことに限定されるべきではなく、当業者には、工程は変更可能であるが、なお本発明の趣旨および範囲に含まれることは容易に分かる。

以下に、出願時の特許請求の範囲の記載を示す。

[請求項 1]

爪の感染症を治療するための組成物であって、

(a) ヨードフォアと、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、

を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、組成物。

[請求項 2]

爪の感染症を治療するための組成物であって、

(a) 元素状ヨウ素と、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、

を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、組成物。

[請求項 3]

該ヨードフォアが、ポビドンヨード (PVP-I)、ヨードチンキ、ルゴール液、ヨウ化カリウムおよびヨウ化ナトリウムからなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

[請求項 4]

該ヨードフォアが PVP-I である、請求項 3 に記載の組成物。

[請求項 5]

該組成物が実質的に無水である、請求項 1 に記載の組成物。

[請求項 6]

該組成物が無水である、請求項 1 に記載の組成物。

[請求項 7]

PVP-I が約 0.01% ~ 約 10% (w/w) で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

[請求項 8]

PVP-I が、約 0.05% ~ 約 10%、約 0.1% ~ 約 5%、約 0.2% ~ 約 2.5% および約 0.5% ~ 約 1% (w/w) からなる群から選択される範囲で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

[請求項 9]

PVP-I が、約 0.1%、約 0.2%、約 0.3%、約 0.4%、約 0.5%、約 1.0%、約 1.25%、約 1.5%、約 2.0%、約 2.5% および約 5% (w/w) からなる群から選択される範囲で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

[請求項 10]

PVP-I が約 1% (w/w) で存在する、請求項 3 に記載の組成物。

[請求項 11]

少なくとも 1 種の自然療法物質をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

[請求項 12]

ザクロ (*Punica Granatum*) エキス、チャ (*Camellia Sinensis*) 葉エキスを、アスコルビン酸、キンセンカ (*Calendula Officinalis*) エキス、スペインカンゾウ (*Glycyrrhiza Glabra*) エキス、アラントインおよびキュウリ (*Cucumis Sativus*) 果実エキスを、請求項 1 に記載の組成物。

[請求項 13]

トルナフテート、テルピナフィン、ウンデシレン酸、クリオキノール、ミコナゾール、硝酸ミコナゾール、クロリナゾール (clorrinazole)、チオコナゾール、ナイスタチン、テ

ルコナゾイク (terconazoic)、硝酸ブトコナゾール、シクロピロクスオラミン、硝酸エコナゾール、トリアセチン、フルシトシン、ハロプロジンおよびケトコナゾールからなる群から選択される少なくとも１種の抗真菌剤をさらに含む、請求項１に記載の組成物。

[請求項１４]

該少なくとも１種の抗真菌剤が、約１％～約２５％（ｗ／ｗ）の量で存在する、請求項１に記載の組成物。

[請求項１５]

爪の感染症を治療するための組成物であって、

(a) ヨードフォアと、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、

を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、そしてポリグリコールを含まない、組成物。

[請求項１６]

爪の感染症を治療するための医薬組成物であって、

(a) ヨードフォアと、

(b) ジメチルスルホキシド (DMSO) と、

を含み、

爪に浸透して感染症を治療することができる、組成物。

[請求項１７]

該感染症が真菌感染症である、請求項１に記載の組成物。

[請求項１８]

該感染症が皮膚糸状菌感染症である、請求項１に記載の組成物。

[請求項１９]

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を請求項１に記載の組成物に接触させる工程と、

(b) 該爪の感染症が治療されるまで、該接触させる工程を必要に応じて繰り返す工程と

、

を含む、爪の感染症の治療方法。

[請求項２０]

該接触させる工程を少なくとも１日１回行う、請求項１９に記載の方法。

[請求項２１]

該接触させる工程を少なくとも１日２回行う、請求項２０に記載の方法。

[請求項２２]

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を請求項１に記載の組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも４週間繰り返す工程と、

を含む、爪の感染症の治療方法。

[請求項２３]

該接触させる工程を少なくとも１２週間繰り返す、請求項２２に記載の方法。

[請求項２４]

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を請求項１に記載の組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも４週間繰り返す工程と、

を含む、爪真菌症の治療方法。

[請求項２５]

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を請求項３に記載の組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも４週間繰り返す工程と、

を含む、爪真菌症の治療方法。

[請求項 26]

(a) 感染した爪および爪に隣接する非爪組織のうちの少なくとも一方を請求項 1 に記載の組成物に接触させる工程と、

(b) 該接触させる工程を少なくとも 4 週間繰り返す工程と、
を含む、爪の感染症の治療方法であって、

該感染症は、紅色白癬菌 (*Trichophyton rubrum*)、毛瘡白癬菌 (*T. mentagrophytes*)、有毛表皮糸状菌 (*Epidermophyton floccosum*)、紫色白癬菌 (*T. violaceum*)、石膏状小孢子菌 (*Microsporum gypseum*)、トリコフィトン・トンスランス (*T. tonsurans*)、トリコフィトン・ソウダネンセ (*T. soudanense*)、トリコフィトン・ベルコースム (*T. verrucosum*) からなる群から選択されるメンバー、およびカンジダ属種 (*Candida* spp.)、ネオスキタリジウム属種 (*Neoscytalidium* spp.)、スコブラリオプシス属種 (*Scopulariopsis* spp.) およびアスペルギルス属種 (*Aspergillus* spp.) のメンバーのうちの少なくとも 1 種によって引き起こされる、方法。